

令和元年 第1回食育推進研究会議 摘録

- 1 日 時 令和元年8月29日(木) 16時00分～17時20分
2 場 所 体育健康教育室 大会議室
3 出席委員 (50音順, 敬省略) 浅井 具子, 岩崎 正美, 折野 匡治,
小切間 美保, 柴田 歩, 武田 有子, 野田 しずか, 福西 清次

4 内 容

(1) 開会

(2) 発表・協議

①実践研究校での取組

ア 食育

イ 中学校給食の試食における事前学習の計画

ウ 生徒アンケート

②指導主事による食に関する指導について

(3) 閉会

(事務局からの説明)

①について

- 人生で一番の成長期である中学生の時期に、自分にどれだけの栄養素が必要かを理解できていない生徒が見られる現状を受け、食に係る実践研究校を3校指定し、バランスよく、多様な味や食材が楽しめる「中学校給食」を、全校生徒が「生きた教材」として実際に食べる機会を設ける。
- ＜食育並びに事前学習から試食＞といった一連の取組を通して、生徒自らが、必要な栄養素量を理解し、学校や、家庭生活において、正しい食習慣を身に付けることを目的としている。
- 一連の取組において、生徒の変容を確かめるべく、取組前後にアンケートを行うことが望ましい。

②について

- 体育健康教育室の指導主事から、①食に関する指導のポイント(「体のリズムと食事・朝食」, 「中学校給食を教材とした成長期に必要な栄養素」) ②活用教材について説明。

(委員からの主な意見)

○今年度の食育に関する取組について

- ・昼食時間に、全生徒・教職員に向けて食に関する内容の放送を行う。
- ・生徒会活動で食に関するテーマを取り扱い、生徒が主体となって食育に取り組む。
- ・全校生徒に向けた食に関する講演を行う。
- ・保護者対象試食会(指導主事による講演, 中学校給食の試食)を行う。

○中学校における食育の課題について

- ・小学校と比べて、調理工程が見えないことにより、生徒の中学校給食に対する意識は低いと思われるが、試食などを行うことで、意識を向上させる。

○生徒アンケートについて

- ・5段階評価では、中間の回答に集まりやすいため、4段階評価を検討いただきたい。
- ・生徒の食生活についての意識調査ではなく、取組前後の変容が分かるシンプルな項目立てであることが望ましい。